

令和4年度報告の要点

2022年度は、新型コロナウイルス流行の影響を前提に、2020年度予算の85%で計画した。変異株の発生など継続するコロナ禍での調査活動は、印刷業界のテレワーク状況やインサイドセールス、Web活用調査など、タイムリーなものに切り替えた。2021年度から多くのイベントをオンラインに移行したが、2022年度はpage展を中心にリアル開催のイベントを準備した。page2023は無事開催されたが、IGAS開催年度と重なったため、page出展社の縮小傾向があり、出展小間数やスポンサーズオンラインセミナーが減少し、page2023の収支に影響を与える結果となった。

- ・2022年度通期予算：収入330,450千円 / 支出328,310千円 / 差益2,140千円
- ・収支実績見込
 - 収入295,340千円（予算比89.4%、前年比89.2%）
 - 支出306,210千円（予算比93.3%、前年比92.7%）
 - 差益 △10,870千円（予算差△13,010千円、前年差△11,830千円）
- ・会員数の増減
 - 会員数：658社（内訳＝正会員：645社 / 団体会員：5団体 / 賛助会員：8社（3月末日）
 - 内 訳：入会3社（目標10社、昨年実績6社） / 退会30社（予測10社、昨年度実績36社）
- ・『JAGAT info』の刊行（年12回）
2022年6月号から誌面をカラー化。
- ・『全国印刷会社のフリーペーパー調査』を実施
印刷総合研究会での報告会開催（6/29）、集計・分析・調査結果のフィードバック（9/1調査開始）。
- ・『印刷産業経営動向調査2022』の実施と報告書の制作・刊行
印刷経営に関する調査を実施。回答社への分析結果のフィードバック（9/23発送）と共に、オンラインによる報告会（9/29）及び報告書の制作（10/3刊行）を実施
- ・『印刷白書2022』の刊行（10/21刊行）
 - ・印刷業界唯一の白書として、年間の研究調査活動を集大成して制作
- ・JAGAT大会2022はデジタルトランスフォーメーションをテーマにオンライン開催（11/30）
- ・第59期DTPエキスパート認証試験を実施（3/12）。Web上で『DTPエキスパートカリキュラム』改訂15版を公開（12/12）、普及推進として学科新項目解説、マイスター実技作例を定期的に掲載。
- ・通信教育は「新入社員コース」テキストを全面改訂し、副教材「オンデマンド動画セミナー」を制作
- ・『みんなの印刷入門』改訂第10版（3/30）を刊行。
- ・セミナーは「工場長養成講座」「DM企画実践講座」が最大募集人数に達する盛況となり、新入社員研修の学び放題サービス化、印刷技術基本講座のオンデマンド動画販売開始と共に、売り上げ、利益に大きく貢献し、本社、地方セミナーはトータルで予算計画を上回る結果となった。
- ・page2023は「創注」をテーマに、リアル展示会を開催（2/1～3）。オンライン配信による基調講演（1/31）、カンファレンス・セミナー（2/6～10）を実施した。
- ・職員の人員数
 - 2022年度末 常勤役員2名、正規職員12名、非正規職員10名、計24名
 - 2021年度末 常勤役員2名、正規職員14名、非正規職員9名、計25名
 - 2020年度末 常勤役員2名、正規職員16名、非正規職員9名、計27名

■研究調査部

●部門方針

印刷の普及・振興・発展を視野に、印刷全般の研究と会員への印刷情報の発信を通して、広く印刷ビジネスの成長に貢献すべく研究調査活動を展開する。研究調査領域は、①技術②メディア③市場から構成して印刷全般をカバー、研究調査の成果は会員への情報発信を通して、広く業界全般に届ける。

毎月の研究調査の成果は、機関誌『JAGAT info』を通して会員に届ける。年間の研究調査の成果は『印刷白書』に集大成する。会員への情報は、月例研究会、会員大会、pageカンファレンス等、オンラインも含めた様々な機会を通じて発信する。

デジタルメディアの加速度的な普及とコロナ禍による価値観の変化に伴い、印刷会社はより広い事業領域への対応を求められるようになってきているため、特に創注を念頭に置く。2022年度の重点テーマは after コロナ時代のニューノーマルに対応するための「マーケティング」「デジタル印刷」「クロスメディア」「見える化」「地域活性ビジネス」「デジタルトランスフォーメーション」など。したがって、page2023のテーマも「創注」とした。

当会指導により厚生労働省令の母子健康手帳に採用された「便色カード」サポートの普及啓発活動、大学等での講師活動、印刷会社が発行主体のフリーペーパー調査など、公益法人として積極的な印刷メディアの普及振興活動を継続する。資格試験制度は運営の最適化に向けた見直しを続ける。

●計画の要点・重点目標

- 研究会活動は after コロナ時代のニューノーマルを見据えた「マーケティング」「デジタル印刷」「クロスメディア」「見える化」「地域活性ビジネス」を共通の重点とした研究調査とミーティングを企画、展開して情報発信する。
- 特に以下を重点的な研究調査分野と位置づける。
 - ① マーケティング
 - ② デジタル印刷
 - ③ クロスメディア
 - ④ 見える化
 - ⑤ 地域活性ビジネス
- 印刷関連団体（日本印刷産業連合会・全日本印刷工業組合連合会等）への協力。
- 「印刷産業経営動向調査」「デジタル印刷レポート」「印刷業毎月観測アンケート」「カラーマネジメント技術サポート」など、従来の研究調査・コンサルティングを継続する。
- 資格試験では、2段階制に移行したDTPエキスパートの認知度向上を図るとともに、より受験しやすい制度に近づける検討を続ける。

◆研究会

- テキスト&グラフィックス領域
- クロスメディア領域
- 印刷マーケット領域

研究領域

1. テキスト&グラフィックス領域

テキスト・組版、グラフィックス・画像に関する技術を基本的な主要研究テーマとし、関連生産技術分野も含めて研究領域とする。印刷・出版分野にとどまらない幅広いテキスト・グラフィックス関連情報を技術視点から研究調査、最新情報を収集・分析・発信する。

2. クロスメディア領域

印刷メディアからデジタルメディアへの横断的な情報コミュニケーション分野全般に関する関連先進技術の動向を基本的な研究領域とする。デジタル技術革新の印刷業界への影響、デジタルと紙を最大効率で組合せて活用するクロスメディア技術の手法について分析する。

3. 印刷マーケット領域

印刷産業・印刷市場・印刷経営・印刷メディアの4視点から、印刷ビジネスの現状と可能性を客観的に捉える。印刷会社の経営革新と印刷メディアの持続可能性に資するべく、情報を収集・分析・発信する。

重点テーマ

1. テキスト&グラフィックス領域

デジタル技術によって進化する印刷制作・生産の近未来、デジタル印刷関連の新技术、ロボット化など自動化動向を中心に、カラーマネジメントの動向なども含め、制作環境・印刷生産・工場運営の変化に伴って生まれる技術の評価と応用の可能性について探る。

2. クロスメディア領域

デジタルメディアの印刷ビジネスへの応用、デジタルメディアと印刷メディアの組み合わせによる相乗効果の追求、5GやAIなどの技術革新が印刷メディアビジネスに与える影響について重点にする。

3. 印刷マーケット領域

デジタル時代の印刷会社・印刷メディアの可能性及び、with/afterコロナ時代の印刷ビジネスモデルの構築に重点を置く。印刷会社の経営資源を活用した地域社会の活性化および、デジタルトランスフォーメーションへの対応についてもテーマとする。

*研究会開催実績と計画

●テキスト&グラフィックス領域/クロスメディア領域/印刷マーケット領域

(1) 2022年度上半期実績

4月27日 ローカルマーケティング先端事情 2022

大谷 良子 (朝日オリコミ)

新井 勇作 (mov)

山岸 祥晃 (凸版印刷)

5月17日 デジタル加飾の最新動向とユーザー事例

松浦 敏昭 (デュプロ)

小山 直仁・三浦 知津子 (コニカミノルタジャパン)

吉原 洋平太 (研文社)

杉山 伸一 (ゲイン)

杉山 将之介 (将之介商店)

船山 幸子 (日本製図器工業)

田辺 友浩 (白山印刷)

5月24日 色評価用LED照明の最新事情と運用

溝上 陽子 (千葉大学)

深堀 慶士 (エコリカ)

八木 穰 (インテックス)

6月29日 フリーペーパーと地域ニュースの最新事例
森永 陸一郎 (電通)
藤井 建人 (JAGAT)
峯木 多恵子 (ヤフージャパン)

7月5日 管理会計と見える化
花房 賢 (JAGAT)

8月30日 印刷ビジネスの未来を考える
郡司 秀明 (JAGAT)
本間 充 (マーケティングサイエンスラボ)
山本 久喜 (東洋美術印刷)

9月13日 デジタル印刷で広がるビジネス【導入編】
郡司 秀明 (JAGAT)
内田 剛 (コニカミノルタジャパン)
大角 龍輝 (リコージャパン)
吉鷹 智和 (キヤノンマーケティングジャパン)
森 浩隆 (富士フイルムビジネスイノベーション)

9月29日 最新調査に見る印刷経営戦略 ～業績・戦略・投資・需要の4視点から～
藤井 建人 (JAGAT)

(2) 2022年度下半期実績と計画

10月18日 ポストプレスのデジタル印刷対応の動向
松浦 敏昭 (デュプロ)
中尾 誠一 (hunkeler Japan)
衣川 竜二 (ホリゾン)

11月9日 『印刷白書2022』発刊記念セミナー
吉村 マチ子 (以下、JAGAT)
藤井 建人
花房 賢
郡司 秀明

11月30日 JAGAT大会2022オンライン
亀卦川 篤 (Habitat/クロス・アンブレラ/情報経営イノベーション専門職大学)
郡司 秀明 (以下、JAGAT)
花房 賢
塚本 直樹
大沢 昭博
藤井 建人

12月6日 測色計の最新動向とカラーマネジメント
小松 隆史 (コニカミノルタジャパン)
種子田 裕介 (リコージャパン)
岡松 英二 (X-Riteジャパン)
坂本 正臣 (富士フイルムビジネスイノベーション)

1月26日 印刷ビジネスの動向と展望2022-2023
藤井 建人 (JAGAT)

2月28日 page2023から読み解く印刷の未来
郡司 秀明 (JAGAT)
宮本 泰夫 (バリューマシーンインターナショナル)
影山 史枝 (スイッチ)
笹沼 信篤 (JAGAT)

3月24日 トピック技術セミナー 2022-2023
ホリゾン・ジャパン
キヤノンマーケティングジャパン
リコージャパン
コニカミノルタジャパン
デュプロ
SCREEN GP ジャパン
日本HP
富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ

3月28日 広告と通販にみるメディア最新動向2022-2023
北原 利行 (電通)
三浦 千宗 (日本通信販売協会)

◆研究調査事業

- 月刊誌『JAGAT info』の発行 (年12回)
 - ・2022年7月号から誌面をカラー化。
 - ・毎号の連載では、「デジタル印刷最前線」「デジ印奏論」「技術トレンド:グラフィックス」「Education」「経営ウォッチング」「マーケティング情報」「キーワード」「ワールド・プリント・サテライト」など印刷産業の周辺関連情報を広く提供する。
 - ・特集と不定期連載では、5号にわたって掲載する「印刷産業経営動向調査 (業績編・戦略編・新技術サービス編・設備編・需要編)」のほか、「Recreating the Future」「マーケティング・ナウ」「デザイン・トレンド」など、技術・教育・メディア・経営・海外など多面的な視点からタイムリーなトピックを取り上げる。
- 第44回『印刷産業経営動向調査2022』
 - ・調査の設計と実施
 - ・調査結果の集計・分析
 - ・分析レポートのJAGAT infoへの掲載 (2022年7~11月号)
 - ・回答社への分析結果フィードバック (9月23日発送)
 - ・報告会 (9月29日オンライン開催)
 - ・報告書の制作・刊行 (10月3日刊行)
- 『印刷会社のフリーペーパー調査』
 - ・2021年度調査の報告会 (6月29日)
 - ・調査・集計・分析・調査結果のフィードバック
 - ・2022年度調査の開始 (9月1日)
 - ・『page2023』会場での作品展示を通じた印刷物の普及啓蒙活動
- 『印刷白書2022』の刊行 (10月21日刊行)
 - ・印刷業界唯一の白書として、年間の研究調査活動を集大成して制作
- JAGAT大会2022オンライン
 - ・デジタルトランスフォーメーションをテーマに開催 (11月30日)
- page2023
 - ・記者発表 (12月9日)
 - ・ポスター・DM・「JAGAT info」連動誌面、ウェブサイト、その他各種プロモーションツールの制作

●page2023 カンファレンス

- ・印刷会社にとって、まだ答えの見えない経営課題を6つ取り上げ、当該テーマに即した識者・第一人者を招いて2時間にわたる発表と議論を展開し、オンラインで配信した。

1月31日無敗営業力と印刷ビジネス力で創注を実現！

高橋 浩一 (TORiX)
本間 充 (マーケティングサイエンスラボ)
塚田 司郎 (錦明印刷)
郡司 秀明 (JAGAT)

2月6日見える化で加速☆企業変革と働きがい

田村 仁美 (総合印刷出版)
花房 賢 (JAGAT)

2月7日 RGB で実現するビビッドカラー・広色域印刷

中澤 美木 (ポプルス)
児玉 雄一郎 (ポプルス)
高野 陽子 (クリエイト)
宮本 毬代 (クリエイト)
斉藤 量 (富士ファイルムグローバルグラフィックシステムズ)
千葉 弘幸 (JAGAT)

2月8日問題解決型営業への変革

新井 貴之 (アサヒコミュニケーションズ)
出口 淳 (エクシート)
花房 賢 (JAGAT)

2月9日 SDGs と ESG のリスクとチャンス -収益性と社会性の両立に向けて-

田中 信康 (サンメッセ総合研究所)
江口 聡 (野毛印刷社)
藤井 建人 (JAGAT)

2月10日価値創造時代のプライシング -印刷サービスの値付けに関する論考-

高見 隆登 (経済調査会)
岩村 貴成 (オフセット岩村)
笹井 靖夫 (共立速記印刷)
藤井 建人 (JAGAT)

●トピック技術セミナー2023

- ・2022年度の印刷関連注目技術を集約して開催 (2023年3月24日)

●印刷界OUTLOOK 2022-2023

- ・初学者向け印刷業界紹介冊子の制作・刊行 (2023年3月29日)

●『みんなの印刷入門』改訂出版 (2023年3月30日)

●『印刷業毎月観測アンケート』

- ・業況に関する調査・集計・分析・調査結果のフィードバックとJAGAT infoへの掲載
- ・2022年度の印刷関連注目技術を集約して開催予定 (2023年3月24日)

●デジタル印刷事例調査

- ・実地調査とレポート作成
- ・JAGAT infoへの掲載

- 印刷関連団体への協力・委員派遣
 - ・日本印刷産業連合会
 - ・全日本印刷工業組合連合会
 - ・東京都印刷工業組合等
 - ・日本印刷学会
 - ・日本写真学会
 - ・日本出版学会
 - ・一般財団法人経済調査会
- 印刷振興のための講師派遣・講座開発提供
 - ・日本大学
 - ・群馬大学
- 印刷会社の見える化
 - ・印刷会社の経営改善に向けた啓発、支援、組織化、コンサルティング等
- 印刷標準・カラーマネジメントサポート
 - ・印刷会社及び印刷発注者への助言とコンサルティング
- 新生児向け予防医療支援「便色カード」
 - ・カラーマネジメント技術を提供して母子健康手帳「便色カード」制作を全面支援
- XMLパブリッシング準研究会の開催
 - ・XML技術による編集組版・オンデマンド出版・電子書籍をテーマとする研究会の運営支援。
- コンサルティング（適宜）
 - ・カラーマネジメント分野
 - ・クロスメディア分野
 - ・企業経営分野
 - ・その他

◆資格制度

【上半期】

本試験実績

申請区分	申請者数(人)	前年同期比
マイスター	103	95.4%
エキスパート	138	90.8%
アップグレード	25	131.6%
合計	266	95.0%

更新試験実績

更新対象者数(人)	申請者数(人)	申請率
1,941	1,629	83.9%

- 試験制度への取り組みは、従来のトップダウンから、従業員主体の取り組みを会社がサポートするスタンスへのシフト傾向が見られる。
- エキスパート（学科のみ）受験の増加は現時点で限定的な一方、マイスター（実技含む）受験は堅調となっている。
- 更新の申請率は80%代半ばで推移。更新率を維持するための誘因施策を検討する。
- DTPエキスパート問題作成委員会
 - ・第58期試験問題項目について協議（6/7）

- セミナー開催
 - ・学科基本知識講座をオンライン開催（7/8、7/15）
 - ・企業向け受験対策講座をオンライン開催（7/28）
 - ・実技解説および課題添削講座をオンライン開催（8/6）
- 教材制作
 - ・DTP エキスパート受験サポートガイド改訂 9 版
 - ・第 58 期模擬試験問題（6 月）
- 第 58 期試験
 - ・東京・大阪・名古屋・福岡・仙台・札幌、および指定講座会場で開催（8/28）
- 更新試験
 - ・オンラインで実施（9 月）
- DTP エキスパート認証委員会
 - ・第 58 期試験・問題内容・合否結果についての報告および認証（10/21）

【下半期】

- セミナー
 - ・学科基本知識 2 日間講座（2023 年 1 月 20・27 日オンライン開催）
 - ・実技解説+課題添削講座（2023 年 3 月 4 日オンライン開催）、オンデマンド配信講座としてリニューアル調整
- 教材制作
 - ・『DTP エキスパートカリキュラム』改訂 15 版を 12 月 12 日 Web 上で公開。求められる新たな人材像の想定に基づき「コミュニケーションと印刷ビジネス」のカテゴリを設け、内容を再編。
 - ・第 59 期模擬試験問題 12 月 20 日発行
 - ・通信教育「DTP 基本知識講座」改訂に伴う学科試験の解説
- 普及推進
 - ・制度普及・啓蒙を図るため、Web 上で学科新項目解説およびマイスター実技作例を定期的に公開
- DTP エキスパート問題作成委員会
 - ・第 59 期試験学科問題項目について協議（12/8）
 - ・第 59 期実技課題について協議（2/8）
- 第 59 期本試験
 - ・2023 年 3 月 12 日に東京・大阪・名古屋・福岡、および指定講座会場で開催

本試験実績

申請区分	申請者数(人)	前年同期比
マイスター	42	70.0%
エキスパート	101	97.1%
アップグレード	18	100.0%
合計	161	88.5%

第 59 期更新試験

- ・2023 年 4 月 CBT 試験方式にて実施予定

更新試験実績

更新対象者数(人)	申請者数(人)	申請率
1,201	975	81.2%

- 他団体への協力
 - ・アビリンピック全国大会 DTP 競技（2022 年 11 月 5 日開催）のサポート
 - ・アビリンピック東京大会 DTP 競技（2023 年 2 月 18 日開催）のサポート

■CS 部

●部門方針

- ・page2023 展示会はリアル開催に向けて計画していく。来場者が安心安全に来場できる環境づくりと、印刷業界の最新トレンド情報を得やすい出展ブース、イベントを企画を行うことで来場者増を図っていく。
- ・教育サービスは、各社の教育計画／教育体系づくりを支援しつつ、セミナー、通信教育、コンサルティング、書籍発行等の企画、プロモーション、運営実施をニーズに応えるようタイムリーに効率よく実行していく。
- ・公益法人として、印刷および関連企業は勿論、クライアント（印刷発注側企業）の課題解決も視野に入れたメディアづくりなど、JAGAT ならではの企画、コンテンツにより、他との差別化、付加価値向上を目指す。

●計画の要点・重点目標

- ・page は総力を上げてリアル展の開催に向けて計画していく。コロナ禍でスポンサー企業の広告投資についてより費用対効果が求められることを考慮し、宣伝効果の高い page 展の企画の充実化に注力する。
- ・教育商品の主体であるセミナーは、オンラインセミナーの開催を増やすことで、全都道府県の印刷関連企業が受講しやすい環境と機会をつくる。

◆会 員

【通期報告】

- ・2022 年度入会実績 3 社（目標 10 社、2021 年度実績 6 社）
- ・退会は上期 16 社、下期 14 社、合計 30 社。
- ・退会数は昨年度より 6 社減少し、結果として会員数は期首より 27 社減。

●会員状況・会員数

2023 年 3 月末における会員数は以下の通り。

会員数：658 社（内訳＝正会員：645 社／団体会員：5 団体／賛助会員：8 社）

●入退会状況

<入会> ・上半期 2 社（昨年度実績 2 社） ※上期目標 5 社

入会	会員番号	社名	口数	地区	備考
4 月	4051	東洋印刷（株）	2	奈良	新入会
4 月	4052	(株)TLP	2	東京（板橋）	新入会

・下半期 1 社（昨年度実績 3 社） ※上期目標 5 社

入会	会員番号	社名	口数	地区	備考
1 月	4053	ヨシノ印刷（株）	3	愛知	再入会

<退会> ・上半期 16 社 (昨年度実績 29 社) ※上半期退会予測 10 社

No.	会員番号	社名	地区	理由
1	0329	研究社印刷 (株)	埼玉	2022 年 3 月末廃業
2	2064	(株) 東光社	東京 (品川)	事業参加できず
3	0677	大阪印刷工業 (株)	大阪	事業参加できず
4	1800	(株) トーク	東京 (新宿)	廃業
5	1672	(株) 広真	東京 (都下)	
6	2776	(株) ミューシステム	鹿児島	メリットなし
7	2879	(有) 平電子印刷所	福島	
8	0432	(株) さんこうどう	神奈川	経費節減
9	2956	東洋プリディア (株)	愛知	
10	1830	とうざわ印刷工芸 (株)	富山	旧来事業からの刷新
11	1278	(株) 金陽社	茨城	経費節減
12	1613	(株) 城野印刷所	熊本	
13	2976	Koenig&BauerJP (株)	東京 (中央)	利用機会の減少
14	2995	(株) フリーラジカル	東京 (千代田)	経費節減
15	1979	フォントワークス (株)	福岡	
16	2958	山浦印刷 (株)	東京 (文京)	

<退会> ・下半期 14 社 (昨年度実績 7 社) ※上半期退会予測 10 社

	会員番号	社名	地区	理由
1	0827	(株) 甲南堂	兵庫	諸般の事情
2	0936	中央印刷 (株)	鳥取	諸般の事情
3	1077	篠田印刷 (株)	東京 (江東)	他業種に移行
4	1393	永井印刷工業 (株)	東京 (中央)	グループ傘下体制変更
5	1486	(株) 翠松堂 BTL	千葉	経費節減
6	1939	江戸製版印刷 (株)	東京 (文京)	諸般の事情
7	2137	(株) ダイム	大阪	営業権譲渡
8	2320	(株) ハイパーギア	埼玉	印刷事業からの撤退
9	2363	ブラザー印刷 (株)	愛知	経費節減
10	2730	東港出版印刷 (株)	東京 (渋谷)	会社合併
11	2755	ブリネット (株)	東京 (港)	諸般の事情
12	2803	(株) 暁印刷	東京 (文京)	諸般の事情
13	4019	大成印刷 (株)	東京 (中央)	諸般の事情
14	4020	(株) 河内屋	東京 (板橋)	経費節減

◆交流イベント/サービス

●JAGAT 大会

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、参加者の感染を防ぐため、リアル会場での開催は行わず、「JAGAT 大会 2022 オンライン」として 11 月 30 日 (水) に開催した。

*実績 参加者 152 名

●JAGAT 地域大会 (JUMP)

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、参加者の感染を防ぐため、各地域での開催は行わず、JAGAT 大会 2022 オンラインと統合して実施。

◆page/イベント

【通期報告】

- ・page2023 リアル展示会 *テーマ:「創注」

出展実績: 122社 423小間 (前回 125社 460小間)

来場者数: 17,070人 (受付通過者人数、前回は 7,672人)

⇒収入実績は計画比 87.9%、前回は 95.6%

◆広告

【通期報告】

- ・Ji誌: 定期広告 (60本) / 企画広告 (4本) / メルマガ広告 (2本)

今年度は 2022 年 7 月に会報誌「JAGATinfo」をオールカラーに変更したことに伴い、広告出稿のプランも見直した結果、複数の新規企業の広告出稿、企画広告の出稿を得ることが出来た。

◆通信教育

JAGAT の通信教育は、唯一業界に特化した講座を提供できるという強みをもつ。特定時間の拘束や場所・距離といった制約を受けないというメリットとともに、これを広くアピールしていく。中堅規模の企業開拓、そのための内定者教育としての「新入社員コース」のプロモーションや短期受講型の新講座開発、セミナーとの連携を図る。

【通期報告】

- ・「新入社員コース」改訂: 内定者需要に合わせて12月、受講料改訂の上、開講テキスト全面見直し、改訂原稿作成、課題解説書き下ろし
副教材「オンデマンド動画セミナー+レジュメ」作成
販売促進強化 (新チラシ作成、ニュースリリース、HP・JI記事、DM、FAXPR等)
- ・「DTPエキスパート基本知識コース」: 課題増刷 (問題一部差し替え、解説改訂)
PR: 過去企業受験社その他教育担当者宛
- ・「よくわかるレイアウトデザイン」: 難易度調整のため課題一部修正
- ・通信教育総合ガイド2023: 2000部作成→会員企業、過去実績企業への案内

<通期通教受講実績>

講座名	年間予算		年間実績		対予算	
	本数	売上金額	本数	売上金額	本数	売上金額
新入社員	294	3,880,800	304	5,308,160	10	1,427,360
よくわかる印刷技術・基本	79	1,477,300	80	1,600,500	1	123,200
DM チラシで実践するマーケティング	9	237,600	3	79,200	-6	-158,400
印刷営業の基本と実務	15	346,500	12	293,700	-3	-52,800
印刷技術者	22	580,800	20	580,800	-2	0
印刷技術者/品質アップ	15	379,500	8	218,900	-7	-160,600
印刷現場の予防保全	10	264,000	3	79,200	-7	-184,800
印刷技術者/トラブル解決	20	506,000	8	240,900	-12	-265,100
DTP エクスパート基本知識講座	38	836,000	24	528,000	-14	-308,000
知っておきたい製本加工知識と管理	38	794,200	12	256,300	-26	-537,900
カラーマネジメント 基礎と実務	26	543,400	19	446,600	-7	-96,800
インパクトと共感をつかむ DM・チラシ企画提案実践講座	9	188,100	4	89,100	-5	-99,000
よくわかるレイアウトデザイン基本	36	475,200	19	278,300	-17	-196,900
コンペで勝てる印刷営業力を磨く	15	148,500	4	42,900	-11	-105,600
印刷技術「キホンのキ」	4	35,200	10	88,000	6	52,800

通信教育代理販売講座	23	272,900	8	91,300	-15	-181,600
コレクト手数料		0		0		0
その他(代理販売講座総合パンフ掲載料等)		34,100		34,753		653
合 計		11,000,100		10,256,613		-743,487

◆刊行物

JAGAT の使命である情報発信ツールとしてのパブリッシングを継続していく。

『みんなの印刷入門』『オフセット印刷技術』『トラブル解決』等の印刷業界基本図書のテキスト採用等による販売維持。受験促進も含め、主催資格の対策参考書の販売。『印刷白書』『経営動向調査』といったコアな統計情報、『デジタル印刷レポート』等各種レポート類の発行、拡販を通じて公益事業体としてのパブリッシング、コンテンツ発信に努める。

【通期報告】

- ・『みんなの印刷入門』第9版第2刷500部増刷
改訂第10版に向けて準備(6/13制作委員会招集)
3月発行に向けて制作進行(新規・改訂原稿執筆、段組みの統一、表紙色変更等)
- ・テキスト採用学校販促
『みんなの印刷入門』『新版DTPベーシック』『眼・色・光』と『オフセット印刷技術』
- ・『新版DTPベーシックガイダンス』(第3刷)増刷
- ・『オフセット印刷技術 作業手順と知識』600部増刷
- ・IGAS2022書籍販売
- ・page2023JAGAT コーナー書籍販売
事前PR実施(メルマガ、ニュースリリース、HP記事等)

<通期販売実績>

NO	書籍名	2022年度予算		2022年度実績		予実差	
		冊数	売上	冊数	売上	冊数	売上
1	みんなの印刷入門	709	1,715,780	798	1,595,658	89	-120,122
2	オフセット印刷技術 作業手順と知識	153	609,093	117	344,384	-36	-264,709
3	オフセット印刷技術 トラブル解決	63	198,009	60	140,926	-3	-57,083
4	オフセット印刷の変動要素230	30	47,160	25	27,449	-5	-19,711
5	製本加工ハンドブック 技術概論編	24	75,432	27	62,955	3	-12,477
6	製本加工ハンドブック ソリューション編	20	37,700	14	21,770	-6	-15,930
7	製本加工ハンドブック マネジメント編	9	14,148	11	13,442	2	-706
8	印刷トップセールスマンの条件	14	22,008	7	18,333	-7	-3,675
9	改訂DTPエキスパート受験サポートガイド	223	614,460	232	542,955	9	-71,505
10	デジタルハンドブック	9	19,800	4	8,030	-5	-11,770
11	眼・色・光	54	113,184	51	85,230	-3	-27,954
12	便覧 文字組みの基準	8	15,096	14	18,682	6	3,586
13	デジタル時代の印刷ビジネス法令ガイド	3	14,145	0	1,227	-3	-12,918
14	未来を創る—THIS POINT FORWARD	1	3,025	0	0	-1	-3,025
15	新版DTPベーシックガイダンス	488	1,180,960	640	1,214,725	152	33,765
16	(受託)印刷料金2022	40	150,880	54	203,688	14	52,808
17	その他		0	22	64,560	22	64,560
	合 計	1,856	4,830,880	2,076	4,364,014	220	-466,866
	展示会売上		700,000		818,589		118,589
	売上修正(内振)		283,832		243,936		-39,896
	送料売上		150,000		121,960		-28,040
	売上総合計		6,000,000		5,548,499	0	-451,501

◆セミナー事業

印刷技術から営業、マーケティング、デザインまで印刷業界に特化した内容でセミナーを展開していく。また、受講者の教育効果を追求するために、グループワークを取り入れての実践型セミナーも強化していく。

*計 画

定期プログラム 40 講座を準備し年間 70 回開催、総受講者数 800 名を予定する。

【通期報告】

本社セミナー売上は 29,676 千円（対予算 106%）差益は 22,923 千円（対予算 147%）の結果となった。大型講座の「工場長養成講座」「DM 企画実践講座」が最大募集人数まで集客ができたこと、新入社員研修の学び放題サービス化、印刷技術基本講座のオンデマンド動画販売の開始が、売り上げ、利益に大きく貢献し本社、地方セミナーはトータルで予算計画を上回る結果となった。

- ・新入社員研修リニューアル（オンラインライブ配信＋オンデマンド）3,660千円
- ・生産性向上訓練（9講座受託開催）
- ・工場長養成講座（6月開講）13社
- ・DM企画制作実践講座（7月新開講）8社
- ・印刷ビジネス開発実践講座（9月開講）3社
- ・新人向け秋のフォローアップ講座（10月開講：全6講座）
- ・印刷技術基本講座オンデマンド（通期募集）
- ・page2023セミナー（2月：全5講座）
- ・その他、セミナー25本開催
- ・地方・組合セミナー（宮城・富山・岐阜・石川）全 5 講座（売上 1,646 千円）

■西部支社

*方針⇒支社としての役割の充実

- ・会員および幅広い企業・団体・個人に対し、印刷関連の情報発信、人材育成等を行うことにより、それぞれの発展に貢献する。
- ・印刷および関連団体との協力関係をより強化し、情報交換および人材育成の機会を創出する。

*通期報告

- ・セミナー37本（オンライン配信講座19本、社内研修4社）開催、409名受講。
- ・厚生労働省所管の生産性向上支援訓練10本開催。
- ・新型コロナウイルス感染防止のための対策実施およびオンライン配信の拡充。
- ・西部支社移転リニューアルに伴う多目的化および来客対応の改善、会場費削減。

【上半期報告】

- ・24本（オンライン配信講座8本）開催、受講者270名、売上5,769千円。
- ・生産性向上支援訓練（1日間）を5本実施。
- ・新型コロナウイルス感染防止対策を講じ公立学校とのコラボレーションDTP実践講座（神戸2日間）を実施。

【下半期計画】

- ・新たなテーマ、印刷業界に適した講師、講座を開発する。
- ・本社との連携を考慮のうえオンライン配信講座の充実を図る。
- ・西部支社から近畿地域への入会促進および各種情報発信を実施する。

■管理部

*計画

- ・老朽化する施設設備の適切なメンテナンス。
- ・受変電設備機器の更新作業を実施予定。
- ・遊休資産活用と社内環境整備。
- ・万全な新型コロナウイルス感染防止対策の実施。
- ・適正な人材補充。

【上半期報告】

- ・受変電設備機器の更新入れ替え作業。
- ・施設の老朽化に伴う修繕を適宜実施（各階トイレ排水、空調調整）
- ・新型コロナウイルス感染防止対策の実施。

【下半期報告】

- ・「インボイス制度・電子帳簿保存法」対応準備。
- ・施設貸与事業として、社会的有益事業へのセミナールームの貸出等検討。
- ・適正な人材募集活動(研究調査部1名・CS部1名)予定。
- ・内閣府立入検査対応（2023/2/13）。

■事業報告の附属明細書

2022 年度事業報告は本文にて事業等が詳細に説明され、したがって「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は不要につき、附属明細書は作成しない。

2023（令和 5）年 5 月
公益社団法人 日本印刷技術協会